



今回の報告範囲

今回の報告範囲（限定的な調査・整理に基づき実施）

基準地震動策定に係る事実関係の調査・整理

- ・基準地震動策定業務の実施体制・プロセス
- ・方法①②が行われた経緯、具体的方法、行為者・関与者
- ・内部からの複数回の指摘とこれへの対応
- ・2025年5月の原子力規制庁からの調査依頼の連絡以降の対応状況 等

資料調査¹⁾

関係者への聞き取り調査²⁾

委託先の調査

参考

類似事案調査³⁾

資料調査¹⁾

アンケート調査等

現時点で事実として認定・報告できる事項を踏まえた対応の方向性をとりまとめ

直接的
原因の分析

根本的
原因の分析

是正措置
立案

今後ご報告

是正措置
実施

調査委員会による調査結果を踏まえ、
必要に応じて追加調査・分析等を実施

-  : 今回報告時点までに実施した調査
-  : 調査委員会による調査中であり、
今回報告時点で十分に実施できていない調査

当社による調査・原因分析・改善プロセス

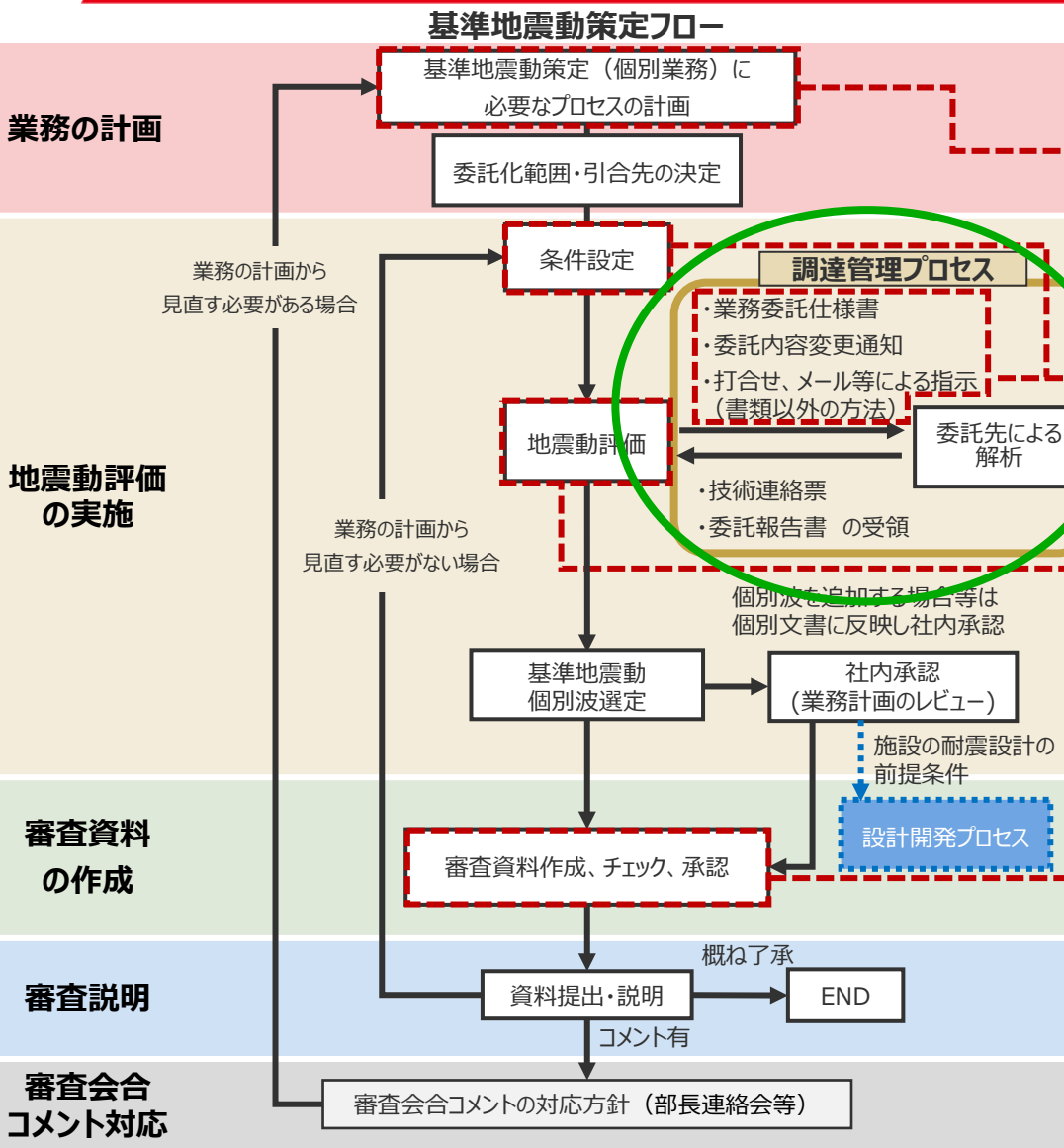
独立した調査委員会による調査

- ・事実関係及び経緯の調査・認定
- ・上記に基づく評価・原因分析、再発防止策の提言

今後ご報告

- 1) 当社が現在保有している本事案に係る文書や記録類（電子媒体を含む）の調査
- 2) 2025年12月以降の社内調査における聞き取り調査
- 3) 本事案における「審査会合での説明内容と異なる手法で解析を実施していた」及び「意図的な方法で解析が実施されていた」疑いを踏まえ、類似事案の有無を調査

基準地震動策定に係る業務プロセスについての事実



＜業務の計画＞

- 基準地震動策定に関する具体的かつ詳細な内容（要求事項、体制、手順等）を明確にした個別業務計画を策定していなかった※

※ 品質マネジメントシステム計画において、個別業務については、個別業務計画として、要求事項、体制、手順等を明確にすることを定めている

＜地震動評価の実施＞

- 詳細な条件等を明確にした「業務委託仕様書」又は承認文書を作成しておらず、打合せ、メール等により委託先へ指示していた
- 代表波の選定に係るレビューは少人数で実施しており、そのレビューは代表波の選定根拠を文書化してなかった

＜審査資料の作成＞

- ライン外専門家による技術的チェックのルールを長期間、社内規程に反映しないまま運用していた
- 審査資料の承認者がライン外専門家のコメントへの対応結果を確認するよう定めたルールがなかった

＜原子力土建部の品質保証機能＞

- 品質保証担当は、指導、助言を行うなど、牽制機能を発揮できていなかった